

開設15周年記念びわ湖セミナー

# 琵琶湖研究の進展と 気候変動への適応に向けて

と き:令和2年3月24日[火]

13:00~16:00(開場 12:30)

ところ:ピアザ淡海 3階大会議室

参加無料  
要事前申込

13:05~13:45 「琵琶湖研究のあゆみと地球環境研究への展開」

内藤 正明 琵琶湖環境科学研究センター長

13:55~14:35 ポスター発表 (詳細は裏面に記載しています)

14:35~15:55 口頭発表

① 「異常気象と琵琶湖の水質変動」

岡本 高弘 (琵琶湖環境科学研究センター)

② 「なぜ2019年の全層循環は起きなかったのか？」

中田 聡史 ( (国研) 国立環境研究所)

③ 「気候変動の影響と適応レベル」

河瀬 玲奈 (琵琶湖環境科学研究センター)

④ 「市民が望む持続可能な『適応社会』とその道筋の検討」

木村 道德 (琵琶湖環境科学研究センター)



主催:滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

# 開設15周年記念びわ湖セミナー

～琵琶湖研究の進展と気候変動への適応に向けて～

## ポスター発表(琵琶湖センターの取組紹介)

- 「二枚貝を評価指標とした住民参加による湖辺環境修復手法の検討」
- 「在来魚の保全に向けた水系のつながりに関する研究」
- 「『健全な琵琶湖』ってどんな状態? ～物質循環から紐解く琵琶湖のいま～」
- 「生物多様性保全・再生に関する研究より ～気候変動による深湖底希少生物の危機～」
- 「針葉樹人工林の択伐跡地における広葉樹の更新状況」
- 「琵琶湖南湖湖底における低酸素水塊の形成について」
- 「琵琶湖南湖における沈水植物の繁茂と湖底栄養塩の関係」
- 「市民参加型による低炭素かつ気候変動に適応した地域社会のシナリオづくり」
- 「琵琶湖北湖の一部水域における初の全層循環未到達と底層D0の現状」
- 「琵琶湖・瀬田川プランクトン等のモニタリングと遷移の評価」
- 「滋賀県内におけるPM2.5濃度の地域的・季節的変動パターンとその要因」
- 「緊急時におけるLC/MSを用いた分析検討について」
- 「ゼブラフィッシュを用いた生物応答試験について」

- 井上 栄壮
- 水野 敏明
- 佐藤 祐一
- 石川 可奈子
- 中川 宏治
- 焦 春萌
- 酒井 陽一郎
- 金 再奎
- 山本 春樹
- 池田 将平
- 高取 惇哉
- 佐貫 典子
- 萩原 裕規

## 開場のご案内

### ピアザ淡海 3階大会議室

滋賀県大津市におの浜1-1-20

#### 【アクセス】

- ※公共交通機関をご利用ください。
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約5分
- JR琵琶湖線「膳所」駅より徒歩約12分
- JR琵琶湖線「大津」駅よりタクシー約5分



## 申込方法および問合せ

### 定員150名 締切/令和2年3月19日(木)必着

#### 【必要事項】

①氏名(代表者名)②参加人数③住所または所属④連絡先をご記入のうえ、E-mail・FAX・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。FAXの場合は、下欄の参加申込書に記入し、切り取らずにそのまま送信してください。

#### 【申込・問合せ先】

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター(滋賀県大津市柳が崎5-34)

TEL :077-526-4800

FAX :077-526-4803

E-mail :de51200@pref.shiga.lg.jp

琵琶湖環境科学研究センター

検索

## 開設15周年記念びわ湖セミナー参加申込書(送信先:077-526-4803)

(ふりがな)			
氏名(代表者名)	参加人数( 人)		
住所	① 滋賀県 府・県	② (市区町村名: )	
会社名・団体名			
連絡先	電話	FAX	
		E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナー以外の目的で使用することはありません。また、参加申込の受付票は発行いたしません。